



1/5スケール電動スーパーバイク

1/5TH SCALE ELECTRIC SUPERBIKE



No.6574-F
No.6575-F

⚠ この RC模型は玩具ではありません。操作を開始する前にこの説明書をすべて通してお読みください。

セットの内容は製品の改良や、仕様の変更により予告なく変更することがあります。

取扱説明書

保　　証

サンダータイガーコーポレーションはこのキットに関し、製造時における材料または加工上の不良について補償を行います。この補償の総額は、いかなる場合でも、このキットを購入された時の金額を越えない範囲に限らせていただきます。一旦使用されたり、又は改造されたパーツについての補償の適用は致しかねます。キットに不足部品がありました場合は、購入後６０日以内のお知らせが必要です。ご購入の証拠がない場合は補償によるパーツの供給は致しません。補償対象のパーツについては、不良部品または購入の証拠をサービスセンターへ送付して頂かなければなりません。不良部品もしくは欠品が見つかったときは、最寄りのサンダータイガー・ジャパンもしくは購入された販売店への連絡が必要です。

一旦、組立を始められたキットについては、いかなる場合でも販売店も代理店も返品の受付は致しません。



はじめに

　このたびはサンダータイガー製品をご購入いただきありがとうございます。運転される前に、この製品の構成および操作について理解していただくために、説明書をよくお読みください。
どうかこのエキサイティングなRCの世界を楽しんでいただけますようにお祈りいたします。

注意事項

1. この製品は玩具ではありません。高組立作業および運転走行の前に、この模型自体、説明書および構造について良くなじんでいただくことが重要です。
2. この説明書は、組立が終わった後でも常に手元に保管しておいてください。
3. この模型を、雨の中、公共の道路、空港の近く、または電波の発信が禁止された地域などで絶対に走行させないでください。
4. この製品そのものやパーツ、組立てのための工具は人の健康を傷つける恐れがあります。組立作業中や運転走行をするときはこのことを常に念頭に入れ細心の注意をはらってください。回転中の部分には絶対に手を触れないようにしてください。
5. バッテリーの充電には適切な充電器を使用し、説明書に正しく従ってください。
6. 使用直後のモーターやESCなどは高い熱を発生していますから直接手で触れないでください。
7. モーターを無理に止めないでください。模型が軽く動かない状態のときモーターに電流を流すとスピードコントローラーが壊れることがあります。
8. この製品を組立てたり操作したりする行為により引起された結果について、使用者は全責任を引受けるものとします。もし購入された方が、このような責任を引受けるつもりがない場合は、未組立、未使用の新品のキットの状態でこの製品を購入されたところ（販売店など）へ返品してください。

⚠ 出火の危険を避けるために、使用後はバッテリーのコネクターを抜いてください。バッテリーを接続したままで誰も注意していない無人の状態にしてはいけません。

目次

操作に必要な用品

RTR仕様の付属品


エースRCクーガーPS3
3チャンネルデジタル2.4ギガRC装置

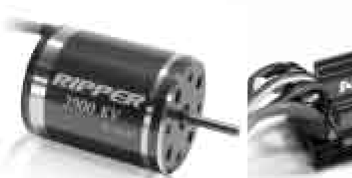

エースRC S1903
スタンダードサーボ

品番 6574 ブラシ仕様


エースRC VELOCIRS
スピードコントローラー

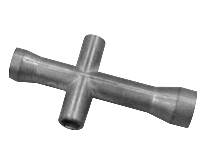

高性能 17ターン
540ブラシモーター

品番 6575 ブラシレス仕様


リパー
IBL36/39-540C


エースRC BLC-40C
スピードコントローラー


バイクスタンド
（未組立）


4ウェイレンチ


六角レンチセット
1.5mm/2.0mm/2.5mm

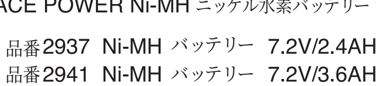
セット以外に必要な機材
（キットに含まれておりません）




単３アルカリ乾電池　８本
送信機電源用



7.2V　品番 AT6116
AC / DC充電器

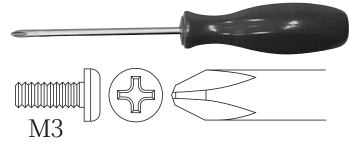
ACE POWER Ni-MH ニッケル水素バッテリー

品番2937 Ni-MH バッテリー 7.2V/2.4AH
品番2941 Ni-MH バッテリー 7.2V/3.6AH

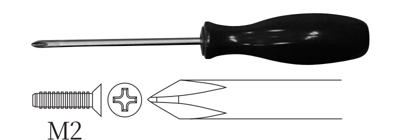


BLC ESC Setting Card

組立に必要な工具類




M3



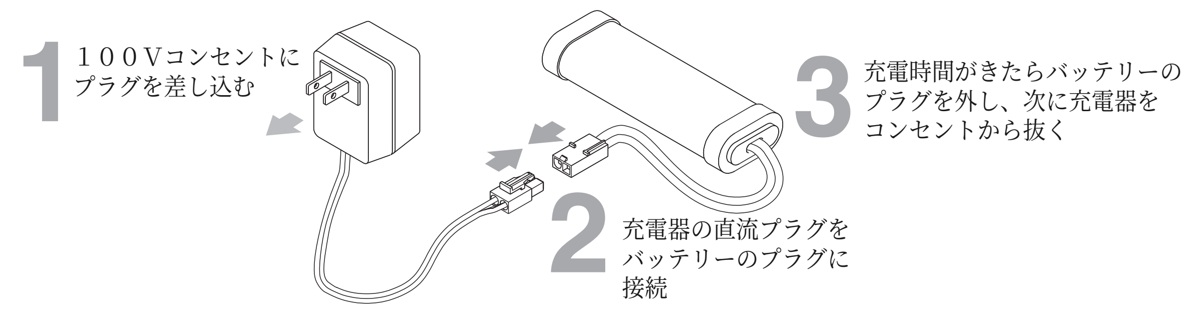
M2

十字ドライバー

1 バッテリーパックの充電
（バッテリーと充電器はキットに含まれておりません）

バッテリーを充電する前に、バッテリーとバッテリー充電器の取扱説明書をよく読んでください。

1. バッテリーを充電器につなげます。つぎにAC充電器のプラグを１００Vのコンセントに差し込みます。
2. 充電器をコンセントに差し込むと充電の始まりを示す赤色のLEDが点灯します。LEDが緑色にかわると充電は完了です。
3. フルに充電が完了したら充電器をコンセントから抜いてください。つぎに充電器からバッテリーを取外してください。バッテリーを車に搭載します。



LiPo （リポ）バッテリー

リチウムポリマー（リポ）バッテリーは、サイズが小さく、エネルギー密度が高く、高電流を流せるので最近RC模型の使用が普及してきています。しかしこのタイプのバッテリーの長寿命と安全な操作には取扱いについて特別な注意が必要です。

⚠ 警告！リポバッテリーはリポバッテリー使用に伴うリスクについて学習されている上級ユーザーだけの使用を考えられています。サンダータイガーはリポバッテリーについての知識と責任が取れる成人の監督が無い16才未満の人によるリポバッテリーの使用をおすすめできません。

⚠ 重要！リポの充電にニッケル水素またはニッカド用の充電器を使用してはいけません。リポバッテリー専用充電器以外の充電器でリポバッテリーを充電すると、リポバッテリーがこわれます。

エースRC VELOCI RS電子スピードコントローラーは呼称7.4V（2S）以下のリポバッテリーに使用することができます。これ以上の電圧をかけるとシステムがこわれます。リポバッテリーは放電するとき超えてはいけない最低電圧のしきい値があります。エースRC VELOCI RSには放電によりバッテリーの電圧を自動判別しこのしきい値に達すると自動的に電流をカットする機能を内蔵しています。この最低カットオフで電圧の設定は7ページのステップ１０を参照してください。バッテリーを安全な最低しきい値以下まで放電させずバッテリーを保護するため直ちに止めることを使用者の責任で行ってください。適切なバッテリーの充電や使用と保管についてバッテリー製造者と充電器製造者から支給の取扱説明書に従うことか使用者にとっては批判的なことです。どのようにリポバッテリーを扱うかしっかり理解しなければなりません。サンダータイガー /エースRCはリポバッテリーをサンダータイガー製模型に搭載したり使用したりすることにより引起された直接、間接またはそれにより引き起こされた損害についてなんの責任も引き受けるつもりが無いことをご承知ください。

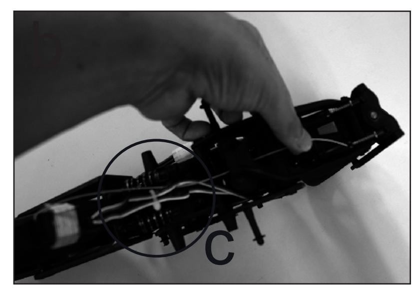
⚠ 最低カットオフ電圧の設定はステップ 10の最低カットオフ電圧の設定の項を参照してください。



2 車体の準備

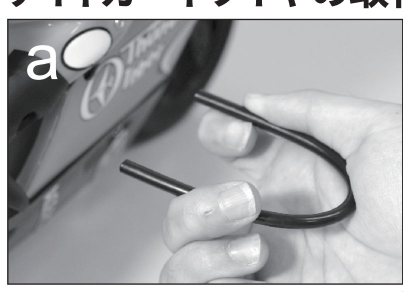


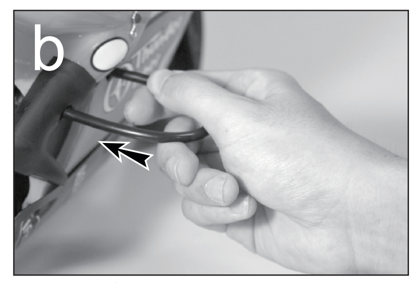




a. シャーシからボディーを取り外します。
b. シャーシ後方の受信機かアンテナ線をシャーシプレートに通します。
c. アンテナとまっすぐに伸ばし二つのフロントショックの間に通し、サーボの配線で固定します。

3 サイドガードワイヤの取付

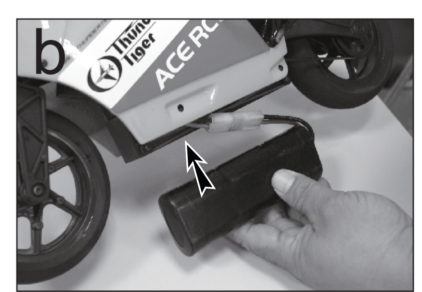




a. フレーム側面にあるサイドガード取り付けネジを六角ドライバーを使ってゆるめます。
b. セット付属のサイドガードを取り付けます。

4 バッテリーの搭載



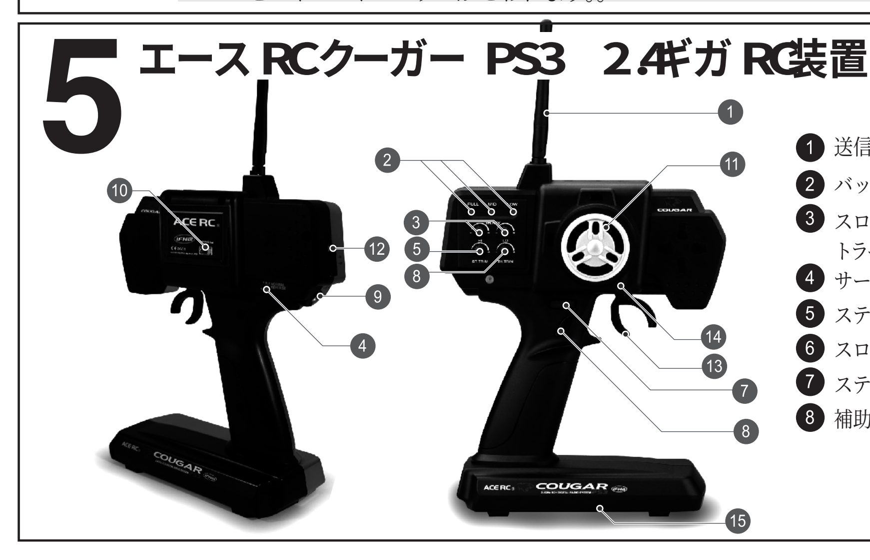




a. 単 3のアルカリ乾電池 8個を送信機の底部に搭載します。
b. 走行用のバッテリーパック（写真に示す棒状のパック）をバッテリートレイに支給のゴムバンドで固定します。コネクターを ESC（スピードコントローラー）のコネクターに接続します。

⚠ 注意：バッテリーをスピードコントローラーに接続する前に配線を確認してください。バッテリーの極性を間違えるとスピードコントローラーがこわれます。。

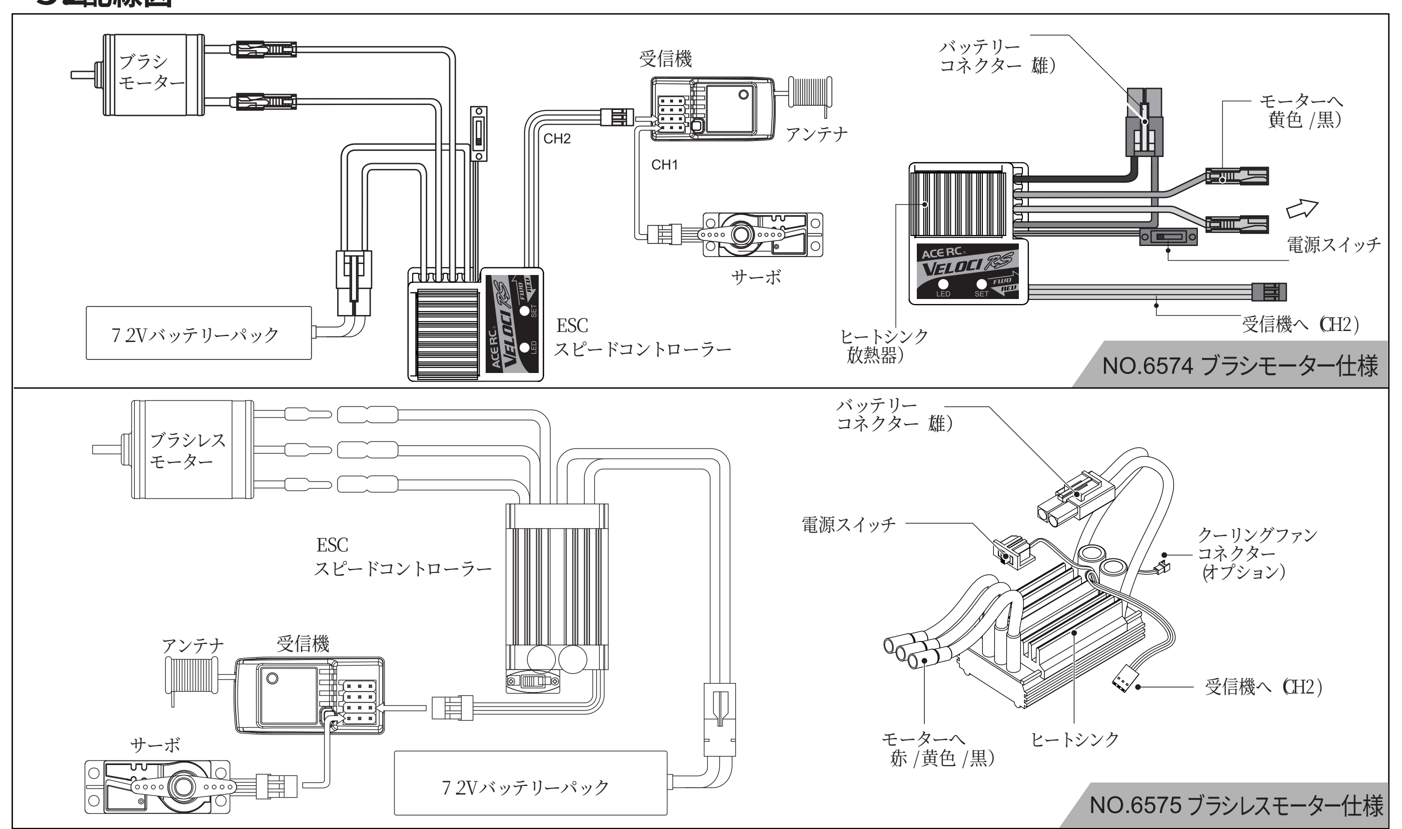
5 エース RCクーガー PS3 2.4ギガ RC装置



1. 送信機アンテナ
2. バッテリーの状態指示灯
3. スロットル（ハイロー）のトラベルアジャスト
4. サーボリバーススイッチ
5. ステアリングトリム
6. スロットルトリム
7. ステアリング　デュアルレート
8. 補助チャンネルボタン
9. 外部充電ジャック
10. 2.4GHzバインディングスイッチ
11. ステアリング ホイル
12. 電源スイッチ
13. スロットルレバー（トリガー）
14. ステアリング硬さ調整
15. バッテリーカバー

5.1 エース RCクーガー PS3 2.4ギガ

5.2配線図



送信機の操作

1. **送信機アンテナ：** 操作をする前にまっすぐに伸ばします。
2. **バッテリー状態指示灯：** 3個のLEDがバッテリーの状態を示します。もし赤色のLEDが点滅し始めたらすぐに送信機のバッテリーを交換してください。
3. **スロットル（ハイ/ロー）トラベルアジャスト：** スロットルサーボのニュートラルからハイ側とロー側の動作角を別々に設定できます。
4. **サーボリバーススイッチ：** サーボの動作方向を逆にするスイッチです。このスイッチは不用意に動かないよう送信機の表面から少しへこんだ位置にあります。
5. **ステアリングトリム：** 模型が直進するように調整するトリムです。
6. **スロットルトリム：** ニュートラルの位置を微調整するトリムです。
7. **ステアリングデュアルレート：** このレバーを左または右に押してステアリングのデュアルレートの割合を変更します。右でデュアルレートが増加し左で減少します。
8. **補助チャンネルボタン：** 模型を操作する特別な機能を持たせます。（このバイクの場合は使用しません。）
9. **外部充電ジャック：** 送信機電池にニッケル水素またはニッカドバッテリーを使用する場合に充電器を接続するジャックです。
10. **2.4ギガバインディングスイッチ：** バインディングスイッチボタンは送信機の裏面にあります。詳細は次のバインディングのやり方の項を参照してください。
11. **ステアリグホイル：** 模型のステアリングをコントロールします。
12. **電源スイッチ：** 送信機の電源のオンオフを行います。
13. **スロットルトリガー：** 引いたり押したりして模型の動きをコントロールします。
14. **ステアリング硬さ調整：** 十字ドライバーを使ってステアリングホイルのばねの強さを換えてステアリングホイルの硬さを調整できます。
15. **バッテリーカバー：** 送信機のバッテリーの付け外しのときカバーをスライドさせます。

6 バインディングのやり方 （このセットは工場出荷時にバインディング処理済みです。）

エースRCクーガー2.4ギガプロポは、スプレッドスペクトラムシステムにより他の通信機器からの妨害を防止するために送信機と受信機を結びつけるバインディング機能があります。このセットは工場でバインディングが設定されています。手動でバインドするには以下の手順で行ってください。

a. 送信機裏側のバインディングスイッチを押しながら送信機の電源スイッチを入れてください。
b. 送信機裏側のLEDがグリーンの点滅を始めたら送信機のバインディングできましたのでボタンから手を離してください。
c. 受信機側のバインディングボタンを押しながら受信機側の電源スイッチを入れてください。バインディング処理は自動的に行われます。受信機側のLEDはグリーン/レッドの点滅になります。
d. バインディングボタンから手を離してください。送信機のLEDは短い点滅から連続点灯に変わります。受信機のLEDもグリーンが点灯します。いったんバインディングができたら、以後は自動的に接続が続きます。

⚠ 注意：バインディング処理に3～10秒かかります。もしバインディングができない場合は受信機のLEDが赤色に点灯します。この場合は上の a.～d.の操作をもう一度繰り返してください。



ステップ	送信機の操作	受信機の操作	LEDの状態
a	ボタンを押しながら送信機をオン	何もしない	
b	ボタンから手を離す	何もしない	送信機のLED 緑色の点滅
c	何もしない	ボタンを押しながら受信機をオン LED赤/緑点滅	受信機のLED 緑色と赤色の点滅
d	何もしない	LED 赤→緑 連続点灯 ボタンから手を離す	送信機のLED 緑色の点滅ー→緑色の連続点灯 受信機のLED 赤色の連続点灯ー→緑色の連続点灯

7 フェイルセーフ(F/S)機能の設定 (このキットの場合、工場でフェイルセーフ設定済みです。)

エースRC クーガー PS3 2.4GHz RCシステムはもし電波干渉などで送信機からの電波を受信機が受けられなくなったときは自動的にサーボを設定した位置に動かすフェイルセーフ機能が組込まれてされています。安全のためにクーガーRCシステムのフェイルセーフ機能を作動させられることを強く推奨いたします。

フェイルセーフ機能の設定：

a. 送信機と受信機のバインディングを行った後、引き続きフェイルセーフ機能の設定をすることができます。送信機のスイッチを入れ次に受信機のスイッチを入れます。

b. 受信機のバインディングボタンを10秒間押しつづけます。受信機のLEDが緑の点滅を始めます。

⚠ 注意：次の設定 c が完了するまで受信機バインディングボタンから手を離さないでください。

c. フェイルセーフ状態が発生したとき希望するコントロール位置にスロットルトリガーを動かしその位置で保持します。まず、ステアリングホイルをニュートラル(ステアリングサーボもニュートラル)位置にします。スロットルサーボブレーキに設定するにはスロットルトリガーをブレーキ位置で保持します。スロットルサーボをニュートラルにするにはトリガーをニュートラルにします。

⚠ 注意：予期しない誤作動が起きたとき、スロットルサーボは常にニュートラルかフルブレーキ位置にステアリングサーボは常にニュートラルになるよう設定します。

工場で設定してあるフェイルセーフは；
■ 電動カー(バイク)の場合はステアリングサーボはニュートラル、スロットルもニュートラルです。
■ エンジンカーの場合はステアリングサーボがニュートラル、スロットルサーボはアイドリングかブレーキです。

d. ステップ c が終わったらまず受信機のバインディングボタンから手を離し、次にスロットルトリガーから手を離してください。LEDは赤色が連続点灯し、つぎにフェイルセーフ機能が働き始めたことを示す緑色の連続点灯に変わります。

e. サーボのフェイルセーフ機能が働いているか確認のため、送信機のスイッチを切ってみてください。

F/Sがニュートラル設定の場合：フェイルセーフが適切に働いているかチェックするために、スロットルトリガーをフルブレーキの位置で保持し送信機のスイッチを切ります。スロットルサーボはニュートラルにステアリングサーボもニュートラルになります。

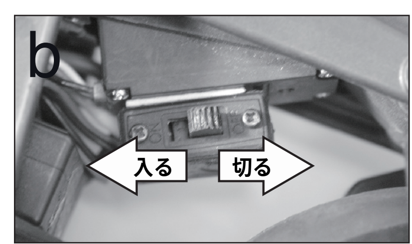
f. F/Sがブレーキ設定の場合：スロットルトリガーをニュートラルに保持し送信機のスイッチを切ってみます。スロットルサーボはブレーキ位置に、ステアリングサーボはニュートラルになります。
もしフェイルセーフ機能が不要であったり、フェイルセーフ設定位置を変えたい場合は、上のステップ a.～ステップ eの操作を繰り返してください。フェイルセーフが設定が完了したら普通の操作にはいってかまいません。

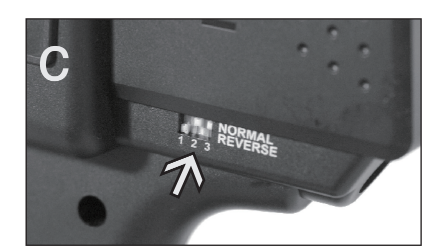
⚠ 注意：フェイルセーフ機能の設定は、常に送信機と受信機のバインディングの後で行ってください。

ステップ	送信機の操作	受信機の操作	LEDの状態
a	バインディング完了	バインディング完了	送信機 LED：緑色 連続点灯 受信機 LED：緑色 連続点灯
b	何もしない	10秒間押す 電源スイッチを入れる	受信機 LED：緑色点滅
c	1. ステアリング：ニュートラル 2. トリガー：ブレーキまたはニュートラル	何もしない	フェールセーフ機能の設定内容 ステアリング：ニュートラル ESC：ニュートラル
d	受信機のボタンから離した後に手を離す	先にボタンから手を離す	送信機 LED： 赤色連続点灯 2秒後 緑色連続点灯
e	1. ブレーキを保持 2. 電源スイッチを切る	何もしない	フェールセーフ機能動作開始
f	OK!		

8 送信機の操作





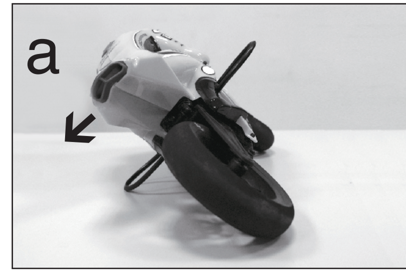


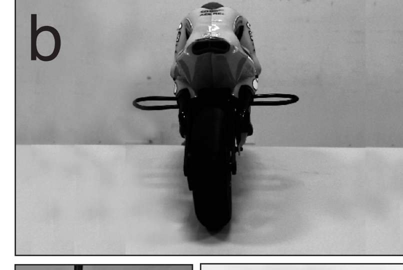
a. RC装置のスイッチを入れる場合は、いつも最初に送信機のスイッチを入れます。
b. 次に受信機（スピードコントローラー）のスイッチを入れます。スイッチを切る場合は受信機を先に、送信機を後で切ります。
c. サーボの動作方向を逆にする場合は、送信機の裏面にある小さなリバーススイッチを切り替えます。 ステアリングサーボの場合はSTのマークのあるスイッチを切り替えます。このスイッチは不用意に動かないよう表面よりすこし奥に入っています。サーボのトリムはステアリングホイルの横にあるツマミで調整します。（S.T.はステアリングのトリムでT.H.はスロットルブレーキのトリムです。）

⚠ 注意：送信機の電池がなくなりかけた状態で模型を走行させないでください。

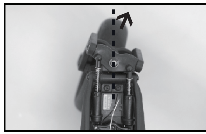


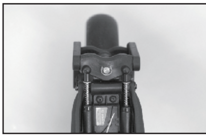
9 送信機のステアリング機能

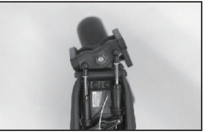








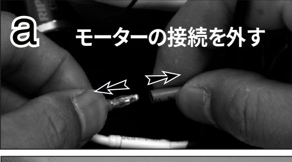


最初にサーボの動作方向を確認して下さい。このバイクのステアリングはフォークを回転させるのではなく、バイクの重心位置を変えることによりバイクが曲がります。

a. 送受信機のスイッチを入れ、ホイルを左に回すと、前輪は右に切れ車体は重心移動で左に傾きます。シャーシも同方向に傾きます。もしこのようにならなければ、送信機のサーボリバーススイッチを切り替えてください。
b. ステリングをニュートラルに戻します。 前輪は真っ直ぐ前方を向くはずです。
c. ステアリングホイルを右に切ります。 すると前輪は逆に左に切れるはずです。

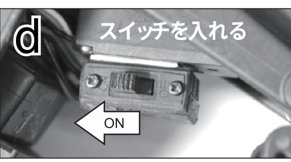
10 スピードコントローラー（ESC）の調整

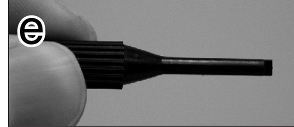
No.6574 ブラシモーター仕様











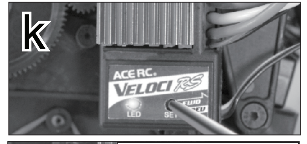






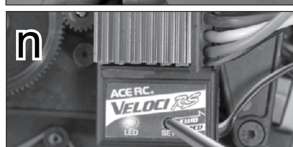








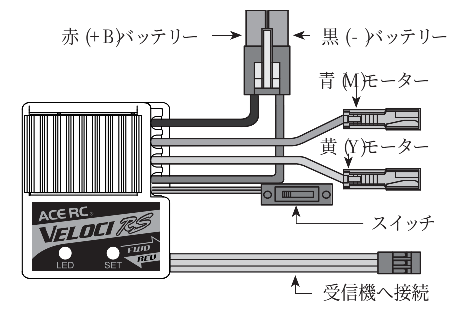






模型を操作する前に電子スピードコントローラー（ESC）のニュートラル、ハイスピード、ブレーキ位置の設定が必要です。

a. モーターの結線を外すか、ベルトを外すとか何らかの方法で車輪が自由に回転できるようします。
b. 送信機のスイッチを入れます。
c. バッテリーパックを接続します。
d. ESCのスイッチを入れます。
e. キットの袋の中から小さな調整棒または小さなねじ回しを用意します。
f. プラスチックの調整棒を使って、設定ボタンを少なくとも 3秒間押します。
g. 設定表示のLEDが赤 /緑と交互に点灯しESCが設定モードに入ったことを示します。
h. スロットルトリガーをニュートラルに置き、スロットルトリムレバーを中間にします。
i. 設定ボタンを押します。ニュートラルの設定が保存され設定 LEDが緑に点灯します。
j. スロットルトリガーをフルスロットル位置にします。
k. トリガーをそのままの位置で設定ボタンを押します。
l. フルスロットルの位置が保存され設定 LEDは赤色が点灯します。
m. スロットルトリガーをフルブレーキ位置に動かします。
n. トリガーをブレーキ位置にして設定ボタンを押します。
o. ブレーキの設定が保存され設定 LEDが同時に 3回点滅してから赤 /緑の連続点灯に入ります。





11 リポバッテリーの最低電圧カットオフ設定

このVELOCIRSスピードコントローラーはリポバッテリー使用にたいする最低カットオフ電圧の作動をプログラムできます。

a. 最低カットオフ電圧の設定：スピードコントローラーが働いている状態で設定ボタンを2回押します。LEDが赤色で5回点滅したら、スピードコントローラーはリポバッテリー仕様になります。

b. 初期設定のニッケル水素バッテリー仕様に戻すには、設定ボタンを2回押してください。LEDが緑色で5回点滅しニッケル水素バッテリー仕様に変わります。（工場出荷時の初期設定はニッケル水素バッテリー仕様です。）



設定ボタンを2回押す
赤色が5回点滅



設定ボタンを2回押す
緑色が5回点滅

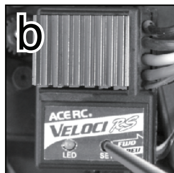
12 スピードコントローラーの運転モード設定

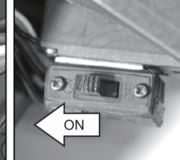
このVELOCIRSスピードコントローラーは二つの運転モードが選ぶことができます。工場出荷時の設定は運転モード1です。
運転モード1：前進/ブレーキ　(2輪車対応)
運転モード2：前進/ブレーキ/リバース 後退)(3、4輪車対応)
もしスピードコントローラーが運転モード2になっていたら次の方法でリバースを無効にしてください。

a. スピードコントローラーをバッテリーに接続してください。
b. 設定ボタンを押したままでスピードコントローラーのスイッチを入れます。
c. これでリバース機能は無効になります。

⚠ 注意！ このバイクには運転モード2を使用しないでください。







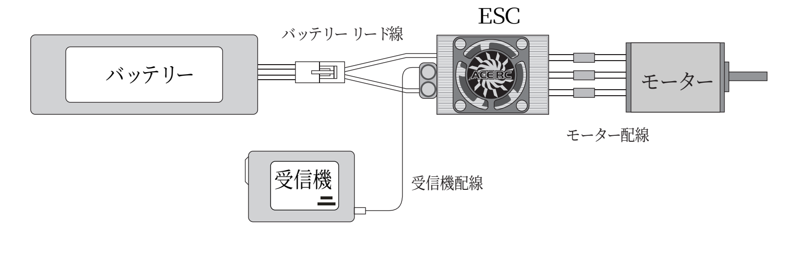




13 スピードコントローラーの調整

品番6575 ブラシレスモーター仕様

ESCと送信機のキャリブレーション



1. 右の図のようにESCを接続してください。最初に送信機のスイッチを入れ、次にESCのスイッチを入れてください。
2. ESCのスイッチを入れたら、ESCが動作開始を知らせる連続した音が発せられます。 スロットルトリムを最良のニュートラル位置に設定してください。 ニュートラルが設定されると別の確認音が発せられます。もしニュートラルの設定が上手くできていないとこの確認音は聞こえません。その場合はこの説明書のステップ1からシステムのチェックをやり直してください。ESCが機能するのは送信機のスロットルとブレーキの比率が50/50又は70/30のいずれかの場合です。
3. スロットルの前進とESCの前進が一致するか確かめてください。車の車輪を持ち上げてください。スロットルを前進にして車輪の回転方向を注意して見てください。次にスロットルを逆方向に動かしブレーキが働くか見てください。
4. スロットルを入れたときの車輪の回転方向が合っていれば設定は正常です。もし回転方向が逆の場合はESCのスイッチを切り、送信機のスロットルリバーススイッチを切り替えてください。次にステップ2からやり直してください。
5. モーターの回転方向：ゆっくりスロットルを入れてにてモーターの回転方向が正しいかどうか確かめてください。もし逆の場合はモーターのから出ている3本の線のうちの2本だけを差し替えてください。 注意：絶対にバッテリーの線の＋－を入れ替えないでください。もし逆にした場合、ESCが永久的に使用できなくなります。
6. 最初の試運転は、小さ目のギヤーを取付け2～3分間走らせESCとモーターの温度を調べてください。もし両方の温度が似たようなものであれば両方はうまくマッチしています。走行コースに合わせて最良のギヤー比になるようギヤーを選んでください。大き目のピニオンに小さ目のスパーのギヤー比の場合、システムの温度上昇が大きくなります。温度上昇のまま走行すると、モーターの磁力が低下しモーターの効率が極端に低下します。
7. 温度が80℃以下を保てるなら、小さなギヤー比に代えるかKV値が大きなモーターに代えてもかまいませんが、ステップ6の説明に従ってください。高い電圧のバッテリーに代えることは小さなKV値のモーターか又は大きなギヤー比が要求されます。もしモーターやギヤー比が入力電圧とマッチしないとESCが焼けてしまいます。バッテリーの電圧がいかに出力に影響を与えるか、以下に例を示します。

入力7.2V、 内部抵抗 0.18Ω → 40A
電圧÷抵抗＝電流　7.2÷0.18=40A)

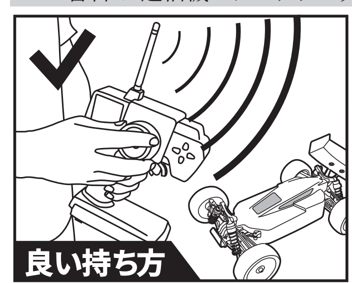
入力11.1V、 内部抵抗 0.18Ω → 61.6A
電圧÷抵抗＝電流　11.1÷0.18=61.6A)

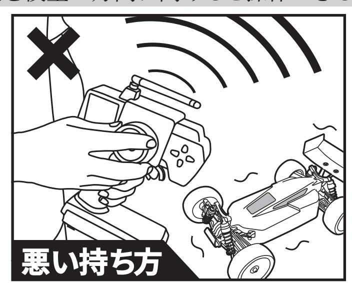


14 操作の前に

最良の操作距離を確保するには送信機アンテナの長い面（側面）を模型に向けることです。

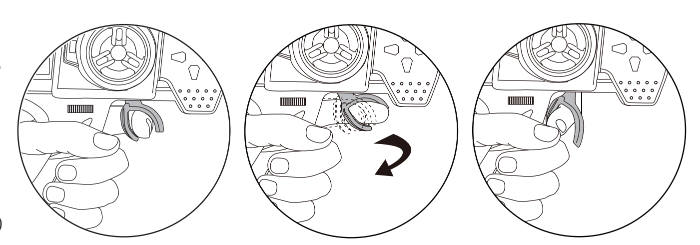
⚠ 警告！ 送信機のアンテナの先を模型の方向に向けると操作できる距離が極端に短くなります。





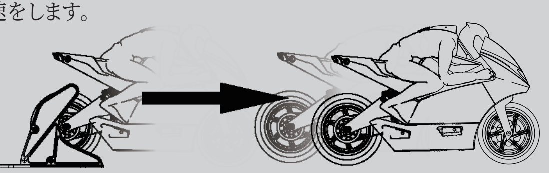
15 運転についてのアドバイス

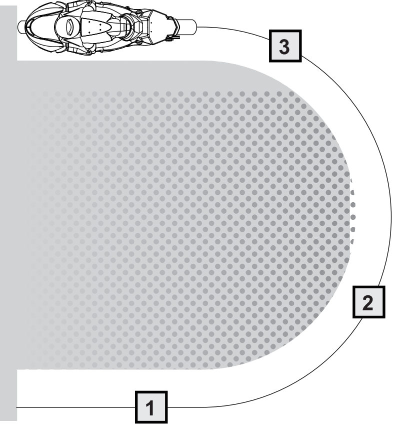
a. 片方の手に送信機を持ち、スロットルに指をかけてください。
b. もう一方の手でバイクを持ちます。バイクを手で押出しながらスロットルを入れます。バイクは真っ直ぐに走り始めます。
c. コーナリング（方向変換）は、少しスピードを落とせば楽に曲がれます。
d. もしバランスを崩し倒れるときは、サイドガードで支えられボディーをこする事が防げます。
e. 連続してバイクを走らすために、バランスの取れた走行を取り戻すには少しスロットルを入れるテクニックを使います。（注意：スロットルを入れすぎるとスピンします。入れすぎないよう気をつけてください。）



スタンドからの出発

キット付属のスタンドを使って出発できます。
バイクを図のように置き加速をします。





コーナリングの秘訣

1 コーナーに進入する前にモーターのパワーを抜きバイクを惰力で走らせ少しずつ少しずつスムーズにステアリングを切ります。
2 ステアリングを保持しながら、バイクの旋回半径と傾きを見ながら少しずつ少しずつバイクを加速します。
3 コーナーの終わりで、ちょっと反対の方向にステアリングを切ります。

こんなときには？

もしスタートや走行について問題がある場合は、まず何を見たらよいか下のリストに目を通してください。

症状	原因	解決法
バイクが止まるまたは遅くなる。	スピードコントローラーがオーバーヒート（過熱）	バイクを止めスピードコントローラーが冷えるのを待つ
バイクの挙動がおかしくなる。	バイクの動力系統に問題がある。	配線のゆるみをチェック、送信機、受信機の電池を調べる
モーターがオーバーヒートする。	モーターのギヤーの噛合わせが堅すぎる。	モーターを冷却後、推奨のギヤー組合せかチェックする。 ギヤーの噛合わせを調整する。
パワーがない。	1.バッテリーが放電している。 2.バッテリーのコネクターの接続が悪い。	1.バッテリーを充電する。 2.バッテリーのコネクターを差し込む。
スロットルが働かない。	1.モーターが接続されていない。 2.モーターが壊れている。 3.モーターが回りっぱなしになる。	1.モーターを接続する。 2.モーターを修理または交換する。 3.スロットルトリムがニュートラルかチェックする。
旋回できない。	1.サーボが接続されていない。 2.ステアリングリンケージがロックしている。 3.サーボが壊れている。	1.サーボを受信機に接続する。 2.リンケージが楽に動くようにする。 3.サーボを修理または交換する。
逆に動く。	トリガーを引いたときブレーキが効く。 またはステアリングホイルを左に切ったらバイクが右に曲がる。	送信機のスロットルリバーススイッチまたはステアリングリバーススイッチを調べる。

製造元 **THUNDER TIGER CORPORATION**
No.7, 6th Road, Industry Park, Taichung, Taiwan R.O.C.

発売元 サンダータイガー・ジャパン
〒547-0011 大阪市平野区長吉出戸 2-4-33
TEL:06-6700-1073